平成 24 年 4 月 23 日

各　　位

会 社 名　　株式会社ネットプライスドットコム
代表者名　　代表取締役 兼 グループ CEO　　佐藤 輝英
（コード番号 3328 東証マザーズ）
問合せ先　　代表取締役副社長 兼 グループ CFO　中村 浩二
電　　話　　03－5739－3350

（訂正）「平成 22 年９月期 第３四半期決算短信」の一部訂正について

当社は、平成 24 年３月 30 日付の「監査法人による当年度監査の過程において指摘された事項に基づく過年度有価証券報告書、決算短信等の訂正に関するお知らせ」でお知らせしましたとおり、過年度決算短信の訂正作業を進めてまいりました。

このたび、平成 22 年７月 27 日付「平成 22 年９月期 第３四半期決算短信」の訂正作業が完了しましたので、訂正内容についてお知らせいたします。

訂正箇所が多数に上るため、訂正前および訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線を付して表示しております。

以　　上

【訂正後】

平成22年９月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年７月27日

上場会社名	株式会社ネットプライスドットコム	上場取引所	東
コード番号	3328	ＵＲＬ	http://www.netprice.com
代表者	（役職名）代表取締役社長兼グループCEO	（氏名）佐藤　輝英	
問合せ先責任者	（役職名）常務取締役兼グループCFO	（氏名）中村　浩二	（ＴＥＬ）（03）5739－3350
四半期報告書提出予定日	平成22年８月６日	配当支払開始予定日	－

四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無　　：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成22年９月期第３四半期の連結業績（平成21年10月１日～平成22年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年９月期第３四半期	9,345	△6.3	209	△30.8	152	△50.1	129	5.0
21年９月期第３四半期	9,980	－	302	－	306	－	123	－

	１株当たり四半期純利益		潜在株式調整後１株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年９月期第３四半期	1,164	48	1,156	16
21年９月期第３四半期	1,109	08	1,097	84

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
22年９月期第３四半期	6,382	4,452	68.2	39,221	97
21年９月期	6,724	4,305	62.7	37,995	20

（参考）自己資本　　22年９月期第３四半期　4,354百万円　21年９月期　4,218百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
21年９月期	－	－	－	－	－
22年９月期	－	－	－		
22年９月期（予想）				0　00	0　00

（注）当四半期における配当予想の修正有無：無

３．平成22年９月期の連結業績予想（平成21年10月1日～平成22年９月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	13,000	△1.0	230	△16.9	230	△7.9	100	52.7	900	70

（注）当四半期における業績予想の修正有無：無

４．その他（詳細は、添付資料３ページ「２.その他の情報」をご覧ください。）

（１）当四半期中における重要な子会社の異動　：無

新規　　－ 社　（　　－）　　除外　　－社　（　　－）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①　会計基準等の改正に伴う変更：無

②　①以外の変更　　：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	22年９月期３Ｑ	113,024株	21年９月期	113,024株
②　期末自己株式数	22年９月期３Ｑ	2,000株	21年９月期	2,000株
③　期中平均株式数（四半期累計）	22年９月期３Ｑ	111,024株	21年９月期３Ｑ	110,964株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続きが実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．その他の情報 …… 3
（１）重要な子会社の異動の概要 …… 3
（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… 3
（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書 …… 6
（第３四半期連結累計期間） …… 6
（第３四半期連結会計期間） …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）セグメント情報 …… 10
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 13

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部の経済指標では回復の兆しが見られておりますが、景気は依然として厳しい状況で推移しました。

このような状況の中、ギャザリング事業におきましては、伸張しているフラッシュセール型販売サイト「24バリュー」のさらなる拡大と、オリジナル商品の開発をはじめとした商品力の向上に注力し、バリューサイクル事業におきましては、認知度向上のための積極的な広告宣伝の実施と、買取商品の取扱領域の拡大によって事業拡大に邁進いたしました。また、コマースインキュベーション事業におきましては、各事業において、新サービスの開始やクオリティの向上を進めてまいりました。厳しい市場環境の中、全般的にセグメントを問わず物販事業が苦戦し、バリューサイクル事業やその他事業が伸張しております。

その結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は9,345,533千円（前年同期比6.3%減）、経常利益は152,780千円（前年同期比50.1%減）、四半期純利益に関しましては129,285千円（前年同期比5.0%増）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

① ギャザリング事業

ギャザリング事業におきましては、スマートフォン対応やソーシャルメディアの活用等新しい取り組みを進めたほか、テレビ番組連動企画や、伸張しているフラッシュセール型販売サイト「24バリュー」での取扱商品数の拡大など、集客力の向上と購入機会の増加を図りました。また、商品面では価格訴求型商品に加え、タレントとのコラボレーション商品やオリジナル商品の開発を進めることで商品力の向上に努めました。しかしながら、厳しい市場環境の影響を受け、商品単価や商品粗利率はまだ改善途上にあります。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間における売上高は6,999,487千円（前年同期比18.2%減）、営業利益は135,116千円（前年同期比64.6%減）となりました。

② バリューサイクル事業

バリューサイクル事業におきましては、ブランディング強化による認知度向上のため、テレビCMやテレビ番組などを利用した積極的な広告宣伝の実施や、取り扱う商品領域を拡げることで、買取点数を増加させることができました。買取の拡大が販売の拡大に直結し売上高が増加し、さらに取扱商品領域の拡大を売上高総利益率の上昇につなげることができました。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間における売上高は1,646,412千円（前年同期比56.8%増）、営業利益は136,678千円（前年同期比330.0%増）となりました。

③ コマースインキュベーション事業

コマースインキュベーション事業におきましては、グローバルショッピング事業「sekaimon」では、米国以外の16カ国（国と地域）のeBayでの出品商品を日本語で検索可能にするなどサービスの拡充とクオリティの向上に努めたことに加え、円高による内外価格差の拡大などの影響によって、集客力と取扱額が順調に拡大しております。

海外居住者向けの商品転送サービス「転送コム」では、複数の荷物を同梱して転送するサービスの開始や、提携ECサイトの拡大等によって、利用者と転送件数が着実に増加しております。それに応じて、配送地域も、前期末の51カ国（国と地域）から84カ国（国と地域）へと順調に拡大しております。

また中国向けオンライン貿易サービスでは、商品の輸出に加え、翻訳やテストマーケティングなど日本企業の中国進出を支援するサービスを開始するなどの新しい取り組みも実施してまいりました。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間における売上高は737,492千円（前年同期比76.7%増）、営業損失は172,520千円（前年同期は営業損失137,341千円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態の分析

（ⅰ）資産

当第３四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比べ342,500千円減少し、6,382,406千円となりました。

内訳といたしましては、流動資産合計が4,660,478千円となり、前連結会計年度末と比べ195,007千円の減少となりました。その主な減少要因は、現金及び預金188,455千円の減少であります。また、固定資産合計は、1,721,927千円となり、前連結会計年度末と比べ147,493千円の減少となりました。その主な減少要因は、ソフトウェア等の無形固定資産183,698千円の減少であります。

（ⅱ）負債

当第３四半期連結会計期間末の負債合計は1,929,700千円となり、前連結会計年度末と比べ489,519千円の減少となりました。その主な減少要因は、支払手形及び買掛金165,661千円、未払法人税等73,452千円、新株予約権付社債200,000千円の減少であります。

（ⅲ）純資産

当第３四半期連結会計期間末の純資産合計は4,452,706千円となり、前連結会計年度末と比べ147,018千円の増加となりました。その主な増加要因は、利益剰余金129,314千円の増加であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第３四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ188,455千円減少し、3,027,950千円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第３四半期連結累計期間において営業活動による資金の増加は、138,077千円となりました。その主な要因は、増加要因としては、税金等調整前四半期純利益182,546千円、売上債権の減少160,610千円、減価償却費141,056千円、法人税等の還付金63,024千円であり、減少要因としては、仕入債務の減少165,428千円、法人税等の支払額227,347千円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第３四半期連結累計期間において投資活動による資金の減少は、113,501千円となりました。その主な減少要因は、投資有価証券の取得による支出89,266千円、無形固定資産の取得による支出48,398千円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第３四半期連結累計期間において財務活動による資金の減少は、199,980千円となりました。その減少要因は、新株予約権付社債の償還による支出200,000千円であります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

四半期純利益の実績が平成22年９月期通期の予想数値を上回っておりますが、昨今の消費動向の変化が激しいこと等から将来の見通しを策定することが困難な状況にあるため、現時点では平成21年10月28日に公表いたしました通期の業績予想の修正はいたしません。

２．その他の情報

（１）重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成22年６月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成21年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,027,950	3,216,405
受取手形及び売掛金	933,675	1,080,914
商品	238,550	206,839
繰延税金資産	70,275	49,360
その他	393,958	305,170
貸倒引当金	△3,931	△3,204
流動資産合計	4,660,478	4,855,486
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	120,192	120,595
減価償却累計額	△34,772	△23,437
建物及び構築物（純額）	85,420	97,158
工具、器具及び備品	377,200	374,383
減価償却累計額	△297,896	△279,688
工具、器具及び備品（純額）	79,304	94,694
有形固定資産合計	164,724	191,852
無形固定資産		
のれん	175,775	215,670
その他	222,143	365,947
無形固定資産合計	397,919	581,617
投資その他の資産		
投資有価証券	402,941	368,689
関係会社株式	191,999	207,137
繰延税金資産	30,446	22,701
その他	533,897	497,421
投資その他の資産合計	1,159,284	1,095,951
固定資産合計	1,721,927	1,869,421
資産合計	6,382,406	6,724,907

(単位：千円)

	当第３四半期連結会計期間末 (平成22年６月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	743,194	908,856
短期借入金	※1 700,000	※1 750,000
未払法人税等	71,533	144,986
ポイント引当金	4,201	5,823
その他	410,770	399,075
流動負債合計	1,929,700	2,208,741
固定負債		
新株予約権付社債	－	200,000
その他	－	10,478
固定負債合計	－	210,478
負債合計	1,929,700	2,419,219
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,331,122	2,331,122
資本剰余金	2,190,760	2,190,760
利益剰余金	110,849	△18,465
自己株式	△285,067	△285,067
株主資本合計	4,347,665	4,218,351
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,806	△7,268
為替換算調整勘定	10,720	7,296
評価・換算差額等合計	6,914	27
新株予約権	19,616	13,343
少数株主持分	78,510	73,965
純資産合計	4,452,706	4,305,687
負債純資産合計	6,382,406	6,724,907

（２）四半期連結損益計算書

（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成20年10月１日 至　平成21年６月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成21年10月１日 至　平成22年６月30日）
売上高	9,980,398	9,345,533
売上原価	6,099,039	5,600,280
売上総利益	3,881,358	3,745,253
販売費及び一般管理費	※1 3,578,777	※1 3,535,874
営業利益	302,580	209,378
営業外収益		
受取利息	1,861	1,156
有価証券利息	2,255	－
投資有価証券売却益	14,572	－
デリバティブ評価益	5,521	－
業務受託収入	－	4,800
その他	16,425	21,941
営業外収益合計	40,636	27,897
営業外費用		
支払利息	3,191	6,603
投資事業組合運用損	11,585	15,961
持分法による投資損失	6,033	45,038
為替差損	6,664	13,859
デリバティブ解約損	8,727	－
その他	420	3,032
営業外費用合計	36,622	84,495
経常利益	306,593	152,780
特別利益		
持分変動利益	－	35,789
投資有価証券償還益	54,000	－
固定資産売却益	－	3,331
事業譲渡益	－	26,333
関係会社株式売却益	－	4,487
特別利益合計	54,000	69,941
特別損失		
減損損失	2,870	－
投資有価証券評価損	6,219	37,311
固定資産除却損	40,467	2,864
臨時償却費	1,247	－
特別損失合計	50,805	40,175
税金等調整前四半期純利益	309,788	182,546
法人税、住民税及び事業税	171,171	97,123
法人税等調整額	21,337	△28,659
法人税等合計	192,509	68,463
少数株主損失（△）	△5,789	△15,201
四半期純利益	123,068	129,285

（第３四半期連結会計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結会計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年６月30日）	当第３四半期連結会計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）
売上高	3,239,353	2,910,546
売上原価	2,006,358	1,699,848
売上総利益	1,232,994	1,210,697
販売費及び一般管理費	※1 1,247,716	※1 1,166,345
営業利益又は営業損失（△）	△14,722	44,352
営業外収益		
受取利息	65	345
有価証券利息	451	－
投資事業組合運用益	4,544	－
持分法による投資利益	3,581	－
業務受託収入	－	800
その他	7,223	8,277
営業外収益合計	15,865	9,423
営業外費用		
支払利息	1,385	1,935
投資事業組合運用損	－	5,248
持分法による投資損失	－	42,683
為替差損	11,174	30,211
その他	83	61
営業外費用合計	12,643	80,139
経常損失（△）	△11,500	△26,364
特別利益		
持分変動利益	－	33,385
投資有価証券償還益	54,000	－
事業譲渡益	－	6,333
関係会社株式売却益	－	4,487
特別利益合計	54,000	44,206
特別損失		
投資有価証券評価損	6,219	35,113
臨時償却費	1,247	－
特別損失合計	7,467	35,113
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	35,032	△17,271
法人税、住民税及び事業税	29,464	18,558
法人税等調整額	6,081	△17,258
法人税等合計	35,545	1,299
少数株主損失（△）	△1,502	△7,967
四半期純利益又は四半期純損失（△）	989	△10,603

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成20年10月１日 至　平成21年６月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成21年10月１日 至　平成22年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	309,788	182,546
減価償却費	140,058	141,056
減損損失	2,870	－
のれん償却額	39,613	39,442
株式報酬費用	6,196	6,272
臨時償却費	1,247	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△797	727
ポイント引当金の増減額（△は減少）	△13,649	△1,622
受取利息及び受取配当金	△4,116	△1,192
支払利息及び社債利息	3,191	6,603
為替差損益（△は益）	△8,110	12,581
持分法による投資損益（△は益）	6,033	45,038
固定資産売却損益（△は益）	－	△3,331
持分変動損益（△は益）	－	△35,789
事業譲渡損益（△は益）	－	△26,333
投資有価証券売却損益（△は益）	△14,572	－
投資事業組合運用損益（△は益）	11,585	15,961
投資有価証券評価損益（△は益）	6,219	37,311
関係会社株式売却損益（△は益）	－	△4,487
投資有価証券償還損益（△は益）	△54,000	－
デリバティブ評価損益（△は益）	△5,521	－
デリバティブ解約損益（△は益）	8,727	－
固定資産除却損	40,467	2,864
売上債権の増減額（△は増加）	△31,678	160,610
たな卸資産の増減額（△は増加）	△15,838	△31,647
仕入債務の増減額（△は減少）	126,307	△165,428
未払金の増減額（△は減少）	6,997	△32,885
未払消費税等の増減額（△は減少）	△4,036	572
その他	△79,677	△40,248
小計	477,306	308,624
利息及び配当金の受取額	6,205	908
利息の支払額	△3,191	△7,131
法人税等の支払額	△149,312	△227,347
法人税等の還付額	28,105	63,024
営業活動によるキャッシュ・フロー	359,113	138,077

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成20年10月１日 至　平成21年６月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成21年10月１日 至　平成22年６月30日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△31,231	△17,320
有形固定資産の売却による収入	－	1,466
無形固定資産の取得による支出	△191,950	△48,398
無形固定資産の売却による収入	－	76,804
投資有価証券の取得による支出	△65,426	△89,266
投資有価証券の売却による収入	41,540	－
投資有価証券の償還による収入	54,000	－
投資事業組合からの分配金による収入	1,949	－
長期性預金の解約による収入	91,272	－
預り保証金の返還による支出	－	△420
敷金及び保証金の差入による支出	△13,792	△18,681
敷金及び保証金の回収による収入	－	8,691
貸付けによる支出	△15,000	△22,500
貸付金の回収による収入	6,024	22,273
関係会社株式の取得による支出	－	△35,590
関係会社社債の取得による支出	－	△35,560
関係会社株式の売却による収入	－	10,000
事業譲渡による収入	－	35,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△122,614	△113,501
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	550,000	－
短期借入金の返済による支出	－	△50,000
新株予約権付社債の償還による支出	－	△200,000
少数株主からの払込みによる収入	－	50,020
財務活動によるキャッシュ・フロー	550,000	△199,980
現金及び現金同等物に係る換算差額	12,414	△13,051
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	798,911	△188,455
現金及び現金同等物の期首残高	1,944,246	3,216,405
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 2,743,158	※1 3,027,950

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第３四半期連結会計期間（自　平成21年４月１日　至　平成21年６月30日）

	ギャザリング事業（千円）	コマースインキュベーション事業（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高					
（１）外部顧客に対する売上高	2,725,565	513,788	3,239,353	―	3,239,353
（２）セグメント間の内部売上高又は振替高	1,085	11,161	12,246	△12,246	―
計	2,726,650	524,949	3,251,600	△12,246	3,239,353
営業利益又は営業損失（△）	39,738	△43,715	△3,976	△10,745	△14,722

（注）１．事業区分の方法

事業の区分は、事業の性質の類似性及び内部管理上採用している区分に基づき、経営の実態が具体的かつ適切に開示できるよう、区分しております。

２．各区分に属する主要な事業

事業区分	主要事業
ギャザリング事業	インターネット通信販売事業(「ちびギャザ」「ネットプライス」)
コマース インキュベーション事業	バリューサイクル事業(「Brandear」「Defacto Estate」)、グローバルショッピング事業（「sekaimon」）、美容商品企画販売事業（「Syan」）、転送サービス事業（「転送コム」）

当第３四半期連結会計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年６月30日）

	ギャザリング事業（千円）	バリューサイクル事業（千円）	コマースインキュベーション事業（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高						
（１）外部顧客に対する売上高	2,142,449	552,847	215,249	2,910,546	―	2,910,546
（２）セグメント間の内部売上高又は振替高	77	―	9,182	9,259	△9,259	―
計	2,142,526	552,847	224,431	2,919,805	△9,259	2,910,546
営業利益又は営業損失（△）	28,128	21,891	△44,855	5,165	39,187	44,352

（注）１．事業区分の方法

事業の区分は、事業の性質の類似性及び内部管理上採用している区分に基づき、経営の実態が具体的かつ適切に開示できるよう、区分しております。

２．各区分に属する主要な事業

事業区分	主要事業
ギャザリング事業	インターネット通信販売事業(「ちびギャザ」「ネットプライス」)
バリューサイクル事業	バリューサイクル事業(「Brandear」)
コマースインキュベーション事業	グローバルショッピング事業（「sekaimon」）、美容商品企画販売事業(「Syan」)、転送サービス事業(「転送コム」)

（事業区分の方法の変更）

従来「コマースインキュベーション事業」に含めて表示していたバリューサイクル事業は、当該事業区分の売上割合が増加しており今後もこの傾向が予想されるため、前連結会計年度より「バリューサイクル事業」として区分表示することに変更しました。

なお、前第３四半期連結会計期間の事業の種類別セグメント情報を変更後の事業区分により表示すると、以下のとおりとなります。

前第３四半期連結会計期間（自　平成21年４月１日　至　平成21年６月30日）

	ギャザリング事業（千円）	バリューサイクル事業（千円）	コマースインキュベーション事業（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高						
（１）外部顧客に対する売上高	2,725,565	380,646	133,141	3,239,353	―	3,239,353
（２）セグメント間の内部売上高又は振替高	1,085	―	11,161	12,246	△12,246	―
計	2,726,650	380,646	144,303	3,251,600	△12,246	3,239,353
営業利益又は営業損失（△）	39,738	17,355	△61,071	△3,976	△10,745	△14,722

前第３四半期連結累計期間（自　平成20年10月１日　至　平成21年６月30日）

	ギャザリング事業（千円）	コマースインキュベーション事業（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高					
（１）外部顧客に対する売上高	8,552,813	1,427,584	9,980,398	―	9,980,398
（２）セグメント間の内部売上高又は振替高	4,368	39,619	43,987	△43,987	―
計	8,557,181	1,467,204	10,024,385	△43,987	9,980,398
営業利益又は営業損失（△）	382,196	△105,557	276,639	25,940	302,580

（注）１．事業区分の方法

事業の区分は、事業の性質の類似性及び内部管理上採用している区分に基づき、経営の実態が具体的かつ適切に開示できるよう、区分しております。

２．各区分に属する主要な事業

事業区分	主要事業
ギャザリング事業	インターネット通信販売事業(「ちびギャザ」「ネットプライス」)
コマースインキュベーション事業	バリューサイクル事業(「Brandear」「Defacto Estate」)、グローバルショッピング事業（「sekaimon」）、美容商品企画販売事業（「Syan」）、転送サービス事業（「転送コム」）

当第３四半期連結累計期間（自　平成21年10月１日　至　平成22年６月30日）

	ギャザリング事業（千円）	バリューサイクル事業（千円）	コマースインキュベーション事業（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高						
（１）外部顧客に対する売上高	6,998,915	1,646,412	700,206	9,345,533	―	9,345,533
（２）セグメント間の内部売上高又は振替高	572	―	37,286	37,858	△37,858	―
計	6,999,487	1,646,412	737,492	9,383,392	△37,858	9,345,533
営業利益又は営業損失（△）	135,116	136,678	△172,520	99,274	110,104	209,378

（注）１．事業区分の方法

事業の区分は、事業の性質の類似性及び内部管理上採用している区分に基づき、経営の実態が具体的かつ適切に開示できるよう、区分しております。

２．各区分に属する主要な事業

事業区分	主要事業
ギャザリング事業	インターネット通信販売事業(「ちびギャザ」「ネットプライス」)
バリューサイクル事業	バリューサイクル事業(「Brandear」)
コマースインキュベーション事業	グローバルショッピング事業（「sekaimon」）、美容商品企画販売事業(「Syan」)、転送サービス事業(「転送コム」)

（事業区分の方法の変更）

従来「コマースインキュベーション事業」に含めて表示していたバリューサイクル事業は、当該事業区分の売上割合が増加しており今後もこの傾向が予想されるため、前連結会計年度より「バリューサイクル事業」として区分表示することに変更しました。

なお、前第３四半期連結累計期間の事業の種類別セグメント情報を変更後の事業区分により表示すると、以下のとおりとなります。

前第３四半期連結累計期間（自　平成20年10月１日　至　平成21年６月30日）

	ギャザリング事業（千円）	バリューサイクル事業（千円）	コマースインキュベーション事業（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高						
（１）外部顧客に対する売上高	8,552,813	1,049,874	377,710	9,980,398	―	9,980,398
（２）セグメント間の内部売上高又は振替高	4,368	―	39,619	43,987	△43,987	―
計	8,557,181	1,049,874	417,329	10,024,385	△43,987	9,980,398
営業利益又は営業損失（△）	382,196	31,784	△137,341	276,639	25,940	302,580

〔所在地別セグメント情報〕

前第３四半期連結会計期間（自　平成21年４月１日　至　平成21年６月30日）及び当第３四半期連結会計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年６月30日）並びに前第３四半期連結累計期間（自　平成20年10月１日　至　平成21年６月30日）及び当第３四半期連結累計期間（自　平成21年10月１日　至　平成22年６月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合がいずれも90％超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第３四半期連結会計期間（自　平成21年４月１日　至　平成21年６月30日）及び当第３四半期連結会計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年６月30日）並びに前第３四半期連結累計期間（自　平成20年10月１日　至　平成21年６月30日）及び当第３四半期連結累計期間（自　平成21年10月１日　至　平成22年６月30日）

海外売上高は、いずれも連結売上高の10％未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

【訂正前】

平成22年９月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年７月27日

上場会社名	株式会社ネットプライスドットコム	上場取引所	東
コード番号	3328	ＵＲＬ	http://www.netprice.com
代表者	（役職名）代表取締役社長兼グループCEO	（氏名）佐藤　輝英	
問合せ先責任者	（役職名）常務取締役兼グループCFO	（氏名）中村　浩二	（ＴＥＬ）（03）5739－3350
四半期報告書提出予定日	平成22年８月６日	配当支払開始予定日	－

四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無　　：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成22年９月期第３四半期の連結業績（平成21年10月１日～平成22年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年９月期第３四半期	9,345	△6.3	209	△30.8	165	△44.6	139	21.0
21年９月期第３四半期	9,980	－	302	－	298	－	114	－

	１株当たり四半期純利益		潜在株式調整後１株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年９月期第３四半期	1,253	85	1,244	89
21年９月期第３四半期	1,035	99	1,025	49

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
22年９月期第３四半期	6,382	4,452	68.2	39,221	56
21年９月期	6,724	4,305	62.7	37,995	20

（参考）自己資本　　22年９月期第３四半期　4,354百万円　21年９月期　4,218百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
21年９月期	－	－	－	－	－
22年９月期	－	－	－		
22年９月期（予想）				0　00	0　00

（注）当四半期における配当予想の修正有無：無

３．平成22年９月期の連結業績予想（平成21年10月1日～平成22年９月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	13,000	△1.0	230	△16.9	230	16.3	100	14.9	900	70

（注）当四半期における業績予想の修正有無：無

４．その他（詳細は、添付資料３ページ「２.その他の情報」をご覧ください。）

（１）当四半期中における重要な子会社の異動　：無

新規　　－ 社　（　　－）　　除外　　－社　（　　－）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①　会計基準等の改正に伴う変更：無

②　①以外の変更　　：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	22年９月期３Ｑ	113,024株	21年９月期	113,024株
②　期末自己株式数	22年９月期３Ｑ	2,000株	21年９月期	2,000株
③　期中平均株式数（四半期累計）	22年９月期３Ｑ	111,024株	21年９月期３Ｑ	110,964株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続きが実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．その他の情報 …… 3
（１）重要な子会社の異動の概要 …… 3
（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… 3
（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書 …… 6
（第３四半期連結累計期間） …… 6
（第３四半期連結会計期間） …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）セグメント情報 …… 10
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 13

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部の経済指標では回復の兆しが見られておりますが、景気は依然として厳しい状況で推移しました。

このような状況の中、ギャザリング事業におきましては、伸張しているフラッシュセール型販売サイト「24バリュー」のさらなる拡大と、オリジナル商品の開発をはじめとした商品力の向上に注力し、バリューサイクル事業におきましては、認知度向上のための積極的な広告宣伝の実施と、買取商品の取扱領域の拡大によって事業拡大に邁進いたしました。また、コマースインキュベーション事業におきましては、各事業において、新サービスの開始やクオリティの向上を進めてまいりました。厳しい市場環境の中、全般的にセグメントを問わず物販事業が苦戦し、バリューサイクル事業やその他事業が伸張しております。

その結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は9,345,533千円（前年同期比6.3%減）、経常利益は165,362千円（前年同期比44.6%減）、四半期純利益に関しましては139,207千円（前年同期比21.0%増）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

① ギャザリング事業

ギャザリング事業におきましては、スマートフォン対応やソーシャルメディアの活用等新しい取り組みを進めたほか、テレビ番組連動企画や、伸張しているフラッシュセール型販売サイト「24バリュー」での取扱商品数の拡大など、集客力の向上と購入機会の増加を図りました。また、商品面では価格訴求型商品に加え、タレントとのコラボレーション商品やオリジナル商品の開発を進めることで商品力の向上に努めました。しかしながら、厳しい市場環境の影響を受け、商品単価や商品粗利率はまだ改善途上にあります。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間における売上高は6,999,487千円（前年同期比18.2%減）、営業利益は135,116千円（前年同期比64.6%減）となりました。

② バリューサイクル事業

バリューサイクル事業におきましては、ブランディング強化による認知度向上のため、テレビCMやテレビ番組などを利用した積極的な広告宣伝の実施や、取り扱う商品領域を拡げることで、買取点数を増加させることができました。買取の拡大が販売の拡大に直結し売上高が増加し、さらに取扱商品領域の拡大を売上高総利益率の上昇につなげることができました。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間における売上高は1,646,412千円（前年同期比56.8%増）、営業利益は136,678千円（前年同期比330.0%増）となりました。

③ コマースインキュベーション事業

コマースインキュベーション事業におきましては、グローバルショッピング事業「sekaimon」では、米国以外の16カ国（国と地域）のeBayでの出品商品を日本語で検索可能にするなどサービスの拡充とクオリティの向上に努めたことに加え、円高による内外価格差の拡大などの影響によって、集客力と取扱額が順調に拡大しております。

海外居住者向けの商品転送サービス「転送コム」では、複数の荷物を同梱して転送するサービスの開始や、提携ECサイトの拡大等によって、利用者と転送件数が着実に増加しております。それに応じて、配送地域も、前期末の51カ国（国と地域）から84カ国（国と地域）へと順調に拡大しております。

また中国向けオンライン貿易サービスでは、商品の輸出に加え、翻訳やテストマーケティングなど日本企業の中国進出を支援するサービスを開始するなどの新しい取り組みも実施してまいりました。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間における売上高は737,492千円（前年同期比76.7%増）、営業損失は172,520千円（前年同期は営業損失137,341千円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態の分析

（ⅰ）資産

当第３四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比べ342,500千円減少し、6,382,406千円となりました。

内訳といたしましては、流動資産合計が4,660,478千円となり、前連結会計年度末と比べ195,007千円の減少となりました。その主な減少要因は、現金及び預金188,455千円の減少であります。また、固定資産合計は、1,721,927千円となり、前連結会計年度末と比べ147,493千円の減少となりました。その主な減少要因は、ソフトウェア等の無形固定資産183,698千円の減少であります。

（ⅱ）負債

当第３四半期連結会計期間末の負債合計は1,929,755千円となり、前連結会計年度末と比べ489,464千円の減少となりました。その主な減少要因は、支払手形及び買掛金165,661千円、未払法人税等73,452千円、新株予約権付社債200,000千円の減少であります。

（ⅲ）純資産

当第３四半期連結会計期間末の純資産合計は4,452,651千円となり、前連結会計年度末と比べ146,963千円の増加となりました。その主な増加要因は、利益剰余金139,236千円の増加であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第３四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ188,455千円減少し、3,027,950千円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第３四半期連結累計期間において営業活動による資金の増加は、138,077千円となりました。その主な要因は、増加要因としては、税金等調整前四半期純利益195,128千円、売上債権の減少160,610千円、減価償却費141,056千円、法人税等の還付金63,024千円であり、減少要因としては、仕入債務の減少165,428千円、法人税等の支払額227,347千円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第３四半期連結累計期間において投資活動による資金の減少は、113,501千円となりました。その主な減少要因は、投資有価証券の取得による支出89,266千円、無形固定資産の取得による支出48,398千円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第３四半期連結累計期間において財務活動による資金の減少は、199,980千円となりました。その減少要因は、新株予約権付社債の償還による支出200,000千円であります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

四半期純利益の実績が平成22年９月期通期の予想数値を上回っておりますが、昨今の消費動向の変化が激しいこと等から将来の見通しを策定することが困難な状況にあるため、現時点では平成21年10月28日に公表いたしました通期の業績予想の修正はいたしません。

２．その他の情報

（１）重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成22年６月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成21年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,027,950	3,216,405
受取手形及び売掛金	933,675	1,080,914
商品	238,550	206,839
繰延税金資産	70,275	49,360
その他	393,958	305,170
貸倒引当金	△3,931	△3,204
流動資産合計	4,660,478	4,855,486
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	120,192	120,595
減価償却累計額	△34,772	△23,437
建物及び構築物（純額）	85,420	97,158
工具、器具及び備品	377,200	374,383
減価償却累計額	△297,896	△279,688
工具、器具及び備品（純額）	79,304	94,694
有形固定資産合計	164,724	191,852
無形固定資産		
のれん	175,775	215,670
その他	222,143	365,947
無形固定資産合計	397,919	581,617
投資その他の資産		
投資有価証券	402,941	368,689
関係会社株式	191,999	207,137
繰延税金資産	30,446	22,701
その他	533,897	497,421
投資その他の資産合計	1,159,284	1,095,951
固定資産合計	1,721,927	1,869,421
資産合計	6,382,406	6,724,907

(単位：千円)

	当第３四半期連結会計期間末 (平成22年６月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	743,194	908,856
短期借入金	※1 700,000	※1 750,000
未払法人税等	71,533	144,986
ポイント引当金	4,201	5,823
その他	410,825	399,075
流動負債合計	1,929,755	2,208,741
固定負債		
新株予約権付社債	－	200,000
その他	－	10,478
固定負債合計	－	210,478
負債合計	1,929,755	2,419,219
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,331,122	2,331,122
資本剰余金	2,190,760	2,190,760
利益剰余金	143,334	4,098
自己株式	△285,067	△285,067
株主資本合計	4,380,150	4,240,914
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,806	△7,268
為替換算調整勘定	△21,809	△15,267
評価・換算差額等合計	△25,615	△22,535
新株予約権	19,616	13,343
少数株主持分	78,500	73,965
純資産合計	4,452,651	4,305,687
負債純資産合計	6,382,406	6,724,907

（２）四半期連結損益計算書

（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成20年10月１日 至　平成21年６月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成21年10月１日 至　平成22年６月30日）
売上高	9,980,398	9,345,533
売上原価	6,099,039	5,600,280
売上総利益	3,881,358	3,745,253
販売費及び一般管理費	※1 3,578,777	※1 3,535,874
営業利益	302,580	209,378
営業外収益		
受取利息	1,861	1,156
有価証券利息	2,255	－
投資有価証券売却益	14,572	－
デリバティブ評価益	5,521	－
業務受託収入	－	4,800
その他	16,425	21,941
営業外収益合計	40,636	27,897
営業外費用		
支払利息	3,191	6,603
投資事業組合運用損	11,585	15,961
持分法による投資損失	6,033	45,038
為替差損	14,775	1,277
デリバティブ解約損	8,727	－
その他	420	3,032
営業外費用合計	44,733	71,913
経常利益	298,483	165,362
特別利益		
持分変動利益	－	35,789
投資有価証券償還益	54,000	－
固定資産売却益	－	3,331
事業譲渡益	－	26,333
関係会社株式売却益	－	4,487
特別利益合計	54,000	69,941
特別損失		
減損損失	2,870	－
投資有価証券評価損	6,219	37,311
固定資産除却損	40,467	2,864
臨時償却費	1,247	－
特別損失合計	50,805	40,175
税金等調整前四半期純利益	301,677	195,128
法人税、住民税及び事業税	171,171	97,123
法人税等調整額	21,337	△28,659
法人税等合計	192,509	68,463
少数株主損失（△）	△5,789	△12,541
四半期純利益	114,957	139,207

（第３四半期連結会計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結会計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年６月30日）	当第３四半期連結会計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）
売上高	3,239,353	2,910,546
売上原価	2,006,358	1,699,848
売上総利益	1,232,994	1,210,697
販売費及び一般管理費	※1 1,247,716	※1 1,166,345
営業利益又は営業損失（△）	△14,722	44,352
営業外収益		
受取利息	65	345
有価証券利息	451	－
投資事業組合運用益	4,544	－
持分法による投資利益	3,581	－
為替差益	－	1,498
業務受託収入	－	800
その他	7,223	8,277
営業外収益合計	15,865	10,921
営業外費用		
支払利息	1,385	1,935
投資事業組合運用損	－	5,248
持分法による投資損失	－	42,683
為替差損	2,781	－
その他	83	61
営業外費用合計	4,249	49,928
経常利益又は経常損失（△）	△3,106	5,344
特別利益		
持分変動利益	－	33,385
投資有価証券償還益	54,000	－
事業譲渡益	－	6,333
関係会社株式売却益	－	4,487
特別利益合計	54,000	44,206
特別損失		
投資有価証券評価損	6,219	35,113
臨時償却費	1,247	－
特別損失合計	7,467	35,113
税金等調整前四半期純利益	43,426	14,438
法人税、住民税及び事業税	29,464	18,558
法人税等調整額	6,081	△17,258
法人税等合計	35,545	1,299
少数株主損失（△）	△1,496	△2,838
四半期純利益	9,377	15,976

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成20年10月１日 至　平成21年６月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成21年10月１日 至　平成22年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	301,677	195,128
減価償却費	140,058	141,056
減損損失	2,870	－
のれん償却額	39,613	39,442
株式報酬費用	6,196	6,272
臨時償却費	1,247	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△797	727
ポイント引当金の増減額（△は減少）	△13,649	△1,622
受取利息及び受取配当金	△4,116	△1,192
支払利息及び社債利息	3,191	6,603
持分法による投資損益（△は益）	6,033	45,038
固定資産売却損益（△は益）	－	△3,331
持分変動損益（△は益）	－	△35,789
事業譲渡損益（△は益）	－	△26,333
投資有価証券売却損益（△は益）	△14,572	－
投資事業組合運用損益（△は益）	11,585	15,961
投資有価証券評価損益（△は益）	6,219	37,311
関係会社株式売却損益（△は益）	－	△4,487
投資有価証券償還損益（△は益）	△54,000	－
デリバティブ評価損益（△は益）	△5,521	－
デリバティブ解約損益（△は益）	8,727	－
固定資産除却損	40,467	2,864
売上債権の増減額（△は増加）	△31,678	160,610
たな卸資産の増減額（△は増加）	△15,838	△31,647
仕入債務の増減額（△は減少）	126,307	△165,428
未払金の増減額（△は減少）	7,435	△32,830
未払消費税等の増減額（△は減少）	△4,036	572
その他	△80,115	△40,303
小計	477,306	308,624
利息及び配当金の受取額	6,205	908
利息の支払額	△3,191	△7,131
法人税等の支払額	△149,312	△227,347
法人税等の還付額	28,105	63,024
営業活動によるキャッシュ・フロー	359,113	138,077

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成20年10月１日 至　平成21年６月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成21年10月１日 至　平成22年６月30日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△31,231	△17,320
有形固定資産の売却による収入	－	1,466
無形固定資産の取得による支出	△191,950	△48,398
無形固定資産の売却による収入	－	76,804
投資有価証券の取得による支出	△65,426	△89,266
投資有価証券の売却による収入	41,540	－
投資有価証券の償還による収入	54,000	－
投資事業組合からの分配金による収入	1,949	－
長期性預金の解約による収入	91,272	－
預り保証金の返還による支出	－	△420
敷金及び保証金の差入による支出	△13,792	△18,681
敷金及び保証金の回収による収入	－	8,691
貸付けによる支出	△15,000	△22,500
貸付金の回収による収入	6,024	22,273
関係会社株式の取得による支出	－	△35,590
関係会社社債の取得による支出	－	△35,560
関係会社株式の売却による収入	－	10,000
事業譲渡による収入	－	35,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△122,614	△113,501
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	550,000	－
短期借入金の返済による支出	－	△50,000
新株予約権付社債の償還による支出	－	△200,000
少数株主からの払込みによる収入	－	50,020
財務活動によるキャッシュ・フロー	550,000	△199,980
現金及び現金同等物に係る換算差額	12,414	△13,051
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	798,911	△188,455
現金及び現金同等物の期首残高	1,944,246	3,216,405
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 2,743,158	※1 3,027,950

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第３四半期連結会計期間（自　平成21年４月１日　至　平成21年６月30日）

	ギャザリング事業（千円）	コマースインキュベーション事業（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高					
（１）外部顧客に対する売上高	2,725,565	513,788	3,239,353	―	3,239,353
（２）セグメント間の内部売上高又は振替高	1,085	11,161	12,246	△12,246	―
計	2,726,650	524,949	3,251,600	△12,246	3,239,353
営業利益又は営業損失（△）	39,738	△43,715	△3,976	△10,745	△14,722

（注）１．事業区分の方法

事業の区分は、事業の性質の類似性及び内部管理上採用している区分に基づき、経営の実態が具体的かつ適切に開示できるよう、区分しております。

２．各区分に属する主要な事業

事業区分	主要事業
ギャザリング事業	インターネット通信販売事業(「ちびギャザ」「ネットプライス」)
コマース インキュベーション事業	バリューサイクル事業(「Brandear」「Defacto Estate」)、グローバルショッピング事業（「sekaimon」）、美容商品企画販売事業（「Syan」）、転送サービス事業（「転送コム」）

当第３四半期連結会計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年６月30日）

	ギャザリング事業（千円）	バリューサイクル事業（千円）	コマースインキュベーション事業（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高						
（１）外部顧客に対する売上高	2,142,449	552,847	215,249	2,910,546	―	2,910,546
（２）セグメント間の内部売上高又は振替高	77	―	9,182	9,259	△9,259	―
計	2,142,526	552,847	224,431	2,919,805	△9,259	2,910,546
営業利益又は営業損失（△）	28,128	21,891	△44,855	5,165	39,187	44,352

（注）１．事業区分の方法

事業の区分は、事業の性質の類似性及び内部管理上採用している区分に基づき、経営の実態が具体的かつ適切に開示できるよう、区分しております。

２．各区分に属する主要な事業

事業区分	主要事業
ギャザリング事業	インターネット通信販売事業(「ちびギャザ」「ネットプライス」)
バリューサイクル事業	バリューサイクル事業(「Brandear」)
コマースインキュベーション事業	グローバルショッピング事業（「sekaimon」）、美容商品企画販売事業(「Syan」)、転送サービス事業(「転送コム」)

（事業区分の方法の変更）

従来「コマースインキュベーション事業」に含めて表示していたバリューサイクル事業は、当該事業区分の売上割合が増加しており今後もこの傾向が予想されるため、前連結会計年度より「バリューサイクル事業」として区分表示することに変更しました。

なお、前第３四半期連結会計期間の事業の種類別セグメント情報を変更後の事業区分により表示すると、以下のとおりとなります。

前第３四半期連結会計期間（自　平成21年４月１日　至　平成21年６月30日）

	ギャザリング事業（千円）	バリューサイクル事業（千円）	コマースインキュベーション事業（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高						
（１）外部顧客に対する売上高	2,725,565	380,646	133,141	3,239,353	―	3,239,353
（２）セグメント間の内部売上高又は振替高	1,085	―	11,161	12,246	△12,246	―
計	2,726,650	380,646	144,303	3,251,600	△12,246	3,239,353
営業利益又は営業損失（△）	39,738	17,355	△61,071	△3,976	△10,745	△14,722

前第３四半期連結累計期間（自　平成20年10月１日　至　平成21年６月30日）

	ギャザリング事業（千円）	コマースインキュベーション事業（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高					
（１）外部顧客に対する売上高	8,552,813	1,427,584	9,980,398	―	9,980,398
（２）セグメント間の内部売上高又は振替高	4,368	39,619	43,987	△43,987	―
計	8,557,181	1,467,204	10,024,385	△43,987	9,980,398
営業利益又は営業損失（△）	382,196	△105,557	276,639	25,940	302,580

（注）１．事業区分の方法

事業の区分は、事業の性質の類似性及び内部管理上採用している区分に基づき、経営の実態が具体的かつ適切に開示できるよう、区分しております。

２．各区分に属する主要な事業

事業区分	主要事業
ギャザリング事業	インターネット通信販売事業(「ちびギャザ」「ネットプライス」)
コマースインキュベーション事業	バリューサイクル事業(「Brandear」「Defacto Estate」)、グローバルショッピング事業（「sekaimon」）、美容商品企画販売事業（「Syan」）、転送サービス事業（「転送コム」）

当第３四半期連結累計期間（自　平成21年10月１日　至　平成22年６月30日）

	ギャザリング事業（千円）	バリューサイクル事業（千円）	コマースインキュベーション事業（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高						
（１）外部顧客に対する売上高	6,998,915	1,646,412	700,206	9,345,533	―	9,345,533
（２）セグメント間の内部売上高又は振替高	572	―	37,286	37,858	△37,858	―
計	6,999,487	1,646,412	737,492	9,383,392	△37,858	9,345,533
営業利益又は営業損失（△）	135,116	136,678	△172,520	99,274	110,104	209,378

（注）１．事業区分の方法

事業の区分は、事業の性質の類似性及び内部管理上採用している区分に基づき、経営の実態が具体的かつ適切に開示できるよう、区分しております。

２．各区分に属する主要な事業

事業区分	主要事業
ギャザリング事業	インターネット通信販売事業(「ちびギャザ」「ネットプライス」)
バリューサイクル事業	バリューサイクル事業(「Brandear」)
コマースインキュベーション事業	グローバルショッピング事業（「sekaimon」）、美容商品企画販売事業(「Syan」)、転送サービス事業(「転送コム」)

（事業区分の方法の変更）

従来「コマースインキュベーション事業」に含めて表示していたバリューサイクル事業は、当該事業区分の売上割合が増加しており今後もこの傾向が予想されるため、前連結会計年度より「バリューサイクル事業」として区分表示することに変更しました。

なお、前第３四半期連結累計期間の事業の種類別セグメント情報を変更後の事業区分により表示すると、以下のとおりとなります。

前第３四半期連結累計期間（自　平成20年10月１日　至　平成21年６月30日）

	ギャザリング事業（千円）	バリューサイクル事業（千円）	コマースインキュベーション事業（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高						
（１）外部顧客に対する売上高	8,552,813	1,049,874	377,710	9,980,398	―	9,980,398
（２）セグメント間の内部売上高又は振替高	4,368	―	39,619	43,987	△43,987	―
計	8,557,181	1,049,874	417,329	10,024,385	△43,987	9,980,398
営業利益又は営業損失（△）	382,196	31,784	△137,341	276,639	25,940	302,580

〔所在地別セグメント情報〕

前第３四半期連結会計期間（自　平成21年４月１日　至　平成21年６月30日）及び当第３四半期連結会計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年６月30日）並びに前第３四半期連結累計期間（自　平成20年10月１日　至　平成21年６月30日）及び当第３四半期連結累計期間（自　平成21年10月１日　至　平成22年６月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合がいずれも90％超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第３四半期連結会計期間（自　平成21年４月１日　至　平成21年６月30日）及び当第３四半期連結会計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年６月30日）並びに前第３四半期連結累計期間（自　平成20年10月１日　至　平成21年６月30日）及び当第３四半期連結累計期間（自　平成21年10月１日　至　平成22年６月30日）

海外売上高は、いずれも連結売上高の10％未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。